

住みたい・過ごしたい  
ここちいいまちをめざして

「こちいい」まちは「住みたい・過ごしたい」まちです。

「こちいい」まちには、

安全・安心や健やかさといった「こちいい」くらしの土台があります。

「こちいい」まちには、

まちに出たとき「こちいい」と感じる“場”があります。

“こちいい場”には、こちいい人たちが集い、

その“出会い”が、“活動”へとつながり、

やがて“活動”は、新たな“こちいい場”を創り出します。

一人ひとりが、豊かさや幸せを実感できる

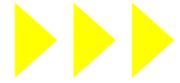
住みたい・過ごしたい

心地いいまち“こちいいバラキ”を

市民の皆さまと共に創造します。

このまちの皆さまの「ここちいい」を  
のぞいてみましょう

Next Page



30 歳代前半 女性

- 夫(30代後半)と息子(小学生)、  
娘(3歳)との4人暮らし
- ・出産を機にマイホームを購入し茨木へ
  - ・市内の工場でパートとして働く
  - ・現在、何か趣味になることを探している



20 歳代後半 男性

- 独身(ひとり暮らし)
- ・市内大学への入学がきっかけで一人暮らしをはじめ、そのまま就職して定住
  - ・趣味はサイクリング。休みの日は仲間と一緒にロードバイクで出かける
  - ・美味しいものに目がない



70 歳代前半 男性

- 妻(60歳代後半)と2人暮らし
- ・結婚当時から茨木に定住し40年
  - ・子どもは仕事で東京に移住し、その後結婚。孫は6歳に
  - ・最近、スマホが使えるようになった



40 歳代後半 女性

- 夫(40歳代後半)と息子(中学生)の3人暮らし
- ・ハンドメイド雑貨を作るのが趣味
  - ・息子が幼稚園の時に知り合ったママ友を誘い、まちのイベントで出店することに
  - ・ゆくゆくはワークショップを開いて活躍したい



一人ひとりが豊かさ・幸せを実感



住みたい・過ごしたい 心地いいまち “ここちいいバラキ”

## Persona ～ワタシたちの、とある「ここちいい」1日～

まちに住む皆さまのある日の出来事を紹介します。ここには、何気ない生活の「ここちいい」が散りばめられています。「ここちいい」は、人と人との出会いやつながり、それを結びつける「活動」や「場」から生まれます。



**家族と過ごす  
何気ない日常**



**7:30 家族そろっての朝食**  
 家族4人で朝食。子どもは寝ぼけ眼で、山で採れた卵を使った目玉焼きを美味しくそうにほおぼる。朝食が済むと急いで用意をして、家族揃って家を出る。娘と一緒に自転車で保育園へ。



**12:00 興味が湧いたお菓子作り**  
 昼休み。パート仲間とのランチで子どもの話で盛り上がる。食後に先輩がくれた手作りのクッキーはとても美味しく、週末に芝生広場で開催されるイベントで販売するという。自分も作ってみようかと思ひ、生涯学習センターの講座を検索してみる。



**15:00 居心地のいいまちなか空間**  
 パート終了後、娘を迎えに行きパート仲間と駅前のカフェへ。歩道に置かれた席は、風が心地よく、会話も弾んだ。カフェの後は、歩道が広く1階部分が開かれていて、居心地が良く歩きたくなるまちなかを娘と散歩した。



**19:00 週末は子どもと芝生広場へ**  
 家族で今日の出来事について話しながら夕食を楽しむ。SNSでマルシェが開催されるという情報から、週末は芝生広場にお出かけすることが決まる。大喜びの子どもを見て、自分も何を着ていこうかと心が弾んだ。



**20:30 タブレットでオンライン学習**  
 夕食後、子どものタブレットでのオンライン学習が始まる。隣の部屋から聞こえてくる英会話の発音に耳を傾けながら、楽しかった学生時代を思い出した。



**仲間とダム湖に  
サイクリング**



**10:30 サイクリング出発**  
 SNSで知り合ったサイクリング仲間との待ち合わせ場所へ。今日の目的地は、まちの山間部にあるダム湖。お揃いのウェアを着た8人で出発。気持ち良い風を感じながらのサイクリングは何にも代えがたい。



**11:30 ダム湖でのひととき**  
 ダム湖に到着。湖畔は、BBQを楽しむファミリーやアクティビティに興じる若者たちで賑わっている。のんびりとカフェのテラスでランチを楽しみながら、最近の出来事やロードバイクの話に花を咲かせる。食後には展望台から絶景を眺めた。



**15:30 感動のキリシタン遺物史料館**  
 ダム湖の周りを1周した後、前から気になっていたキリシタン遺物史料館に立ち寄る。中には教科書でみたザビエル像をはじめ、何百年も前のキリシタンにまつわるたくさんの品々が展示され、特に紹介映像に感動し、再び出発。



**17:00 地場産野菜で舌鼓**  
 再開発されキレイになった駅前に到着。一旦解散となるが、独身組の3人で新しくできたレストランへ。地場産野菜を使った美味しい料理に舌鼓を打ちながら、次回のサイクリングについて冗談を交えつつワイワイ話し合った。



**21:00 お風呂でゆっくりと**  
 帰宅。風呂が沸くまでの間、今日もよく働いてくれたロードバイクをメンテナンス。風呂に入り、温かいお湯が疲れた体を包み込むと、思わず目を瞑り、声が漏れた。風呂上がりビールを飲むと決めた。



## 人との出会いと地域のつながり



### 8:00 朝のラジオ体操

近くの店舗で実施している「元気！いばらき体操」に車いすの妻と一緒に参加してから朝食をとる。最近近所にできたパン屋の食パンをトーストし、行きつけの珈琲店で買った豆を挽いてコーヒーをドリップ。果物には、マルシェで買ったリンゴを剥いた。

### 10:00 地域の一斉清掃

今日は地域の一斉清掃の日。ご近所さんたちと一緒に隅々まで綺麗に掃除をした。最近移り住んできた若い夫婦が初めて参加してくれたので、まちの美味しいお店やお薦めスポットについて楽しく会話をした。

### 15:00 同世代からの刺激

自宅で昼食と小休憩を取り、気分転換に散歩をしてみようと外出。下校の小学生がすれ違いざまに挨拶してくれる。見守りボランティアが街角に立っていて、同年代でも社会との交わりを持っていることに気づく。

### 16:00 商店街で買い物

妻と近くの商店街で買い物。昔から通う酒屋の主人と立ち話。近くで、学生が期間限定でカフェをはじめたことを聞く。ますます賑やかになったことを喜びながら、地元産のお酒を買った。

### 20:00 孫とのビデオ通話

東京の孫とビデオ通話で会話。孫は来週の帰省が楽しみだと、嬉しそうに話してくれた。まちの広報誌に載っていた芝生広場でのイベントに連れて行こうと考えた。大はしゃぎする孫の様子を思い浮かべて笑みがこぼれた。



## 広場のイベントに出店



### 8:30 芝生広場で初出店

身支度をして家を出る。今日は芝生広場で開催されるイベントで、ハンドメイド作品の店を初出店する。広場に到着すると、旧知のママ友3人で店を飾り付け、アクセサリーやカバンを綺麗に並べる。仲間を募集するチラシも置いた。

### 10:00 ドキドキのイベントスタート

そわそわしている間にイベントが開始。雲が空を覆っているせいか、お客さんはまばらだが、それでも芝生で寝転がって遊ぶ元気な兄妹や、孫と手をつないでやって来た老夫婦の表情を見ていると、心は晴れてわくわくしてきた。

### 14:00 大賑わいの芝生広場

最初は少なかったお客さんも、周りの出店者と仲良くなり、アドバイスをもらったことで徐々に増えだした。晴れて暖かくなるとさらに増え、作品を買ってくれる人、作り方を聞いてくる人など評判は上々。夫と息子もお菓子を持って応援に来てくれた。

### 17:00 他のイベントに出店を決意

イベント終了。初出店で疲れたが、自分たちの作品を見てもらい、沢山のひとと交流できたことに充実感。後片付けをしながら、これを機に様々なイベントで出店しようと3人で決意。週明けにランチ会をして今日の反省会をすることに。

### 18:30 夫と息子の手作りカレー

帰宅。晩ご飯は夫と息子が作ったカレー。具材の大きさが気になったが、イベントの話しながら食べるカレーはとても美味しく感じた。食後にPCを開くと、作品を買ってくれた人からメッセージが届いていた。

## “ここちいイバラキ”のイメージ例

「豊かさ・幸せを実感できる 住みたい・過ごしたいまち“ここちいイバラキ”」を具体化していくイメージ例を示します。



### 色々な「出会い」がある “ここちいイバラキ”

まちに出れば、人と人が出会い、活動できる場や機会がたくさんあります。1万人の1回より、100人の100回のイベントがそここで行われ、新しい「出会い」や「つながり」がさらなる活動を生み出します。

### ふらっと立ち寄れる場所がある “ここちいイバラキ”

市民会館跡地エリアで新たに整備される複合施設や芝生の広場など、気兼ねなく集ったり、居心地よく過ごしたりできる「サードプレイス」となる空間で、自分の時間を楽しめます。



## 人と自然が共生する “こちいイバラキ”

元茨木川緑地などの都市の中の身近な自然を、いろいろな活動ができ、人とつながりを感じられる場所として、市民の皆さまと一緒に育てています。



## やまも楽しめる “こちいイバラキ”

安威川ダム周辺では、やまとまちをつなぐ「ハブ拠点」となる公園を整備し、やまとまちのアクセス性も高まっています。この自然豊かな空間で、既存の施設や取組を結びつけた、多様な人が関わりを持てる場が生まれます。

## 人中心のまちなかの “こちいイバラキ”

まちなかでは、街路と沿道の敷地・建物、広場・公園が一体となった、歩きたくなる、人が中心の魅力あるまちなか空間において、ボーダレスに人々が活動し、様々なコトを楽しみます。



## “こちいいバラキ”の実現に向けて

第2期総合戦略では、以下の6つの基本目標に沿って、

市民の皆さまと一緒に、“こちいいバラキ”の実現をめざします。

### 基本目標1

#### 若い世代に選ばれるまち

- ① 就職を機に転出する世代を引き留める
- ② 子育て・ファミリー層の居住地選択における優位性をいかし、さらに伸ばす
- ③ 大学生が将来、茨木市に帰ってくるような種まきとしての取組

### 基本目標2

#### 出産・子育てを応援するまち

- ① 心理的・経済的に安心して妊娠、出産、子育てできる環境の整備
- ② 仕事と子育てを両立することのできる子育て支援
- ③ 次代の親となる若者が子どもをもち、育てるための意識啓発

### 基本目標3

#### 誰もがいきいき活躍できるまち

- ① 高齢者の居場所と役割の創出と地域・経済での活躍
- ② 地域で自立した生活を元気に送り続ける
- ③ 誰もが地域で活躍できる社会の実現

### 基本目標4

#### 人が集う魅力あるまち

- ① 市民会館跡地エリア活用
- ② 人口動態を支える魅力と機能を備えた拠点の形成
- ③ 北部地域の交流人口獲得に向けた取組
- ④ 都市における緑空間の形成
- ⑤ 魅力発信（機能）の強化

### 基本目標5

#### 快適で活力あふれるまち

- ① 大学・研究機関が多く立地しているというポテンシャルを最大限に活用
- ② 彩都地域における産業集積の促進
- ③ 空家や公共施設に係る取組
- ④ 公共交通をはじめとした交通環境の整備
- ⑤ 地域特性をいかした産業施策と雇用促進
- ⑥ 6次産業化や里山的景観活用などの取組

### 基本目標6

#### 安全安心にいつまでも暮らせるまち

- ① 安心して子育てできるまちの推進
- ② 災害や感染症に備える
- ③ 消防・救急体制の充実並びに地域医療体制の確保

次なる  
茨木へ。